

# 大きな愛で人にやさしい

2023年 10月  
ナンバー57号  
帯広市議会議員  
大林 愛 慶  
おおほやし やすよし  
後援会ニュース



大林やすよし市議を  
囲む野遊会開催

## コロナ・物価高へ 約46億円の支出

9月5～29日に帯広市議会第4回定例会が開催されました。2023年度補正予算30億円（一般会計＝22億6,000万円、国保会計＝1億1,000万円、介護会計＝5億2,000万円、ばんえい会計＝1億3,000万円、下水会計＝5,000万円）。

2022年度決算（一般会計＝916億3,000万円、国民保険会計＝157億9,000万円、後期高齢者医療会計＝27億5,000万円、介護保険会計＝165億9,000万円、ばんえい競馬会計＝565億5,000万円、水道事業会計＝151億円）について質疑、可決・認定されました。2022年度の「コロナ・物価高騰

等への支出は約46億円」となりました。また「危険な暑さ」が続き、小中学校教室に「エアコン」設置にむけて、議会として「米沢市長へ要望」「国・道へ整備促進支援の意見書」を提出しました。

### 国・北海道へ

#### 空調設備の整備促進を求める 意見書を提出

今年の夏は帯広市においても猛暑に見舞われ真夏日も平年を大きく上回り、熱中警戒アラートが発表されるなど、特に児童・生徒が一日の大半を過ごす教室でも危険な暑さとなっています。帯広市議会として、国・道に学校施設整備環境改善交付金の増額・空調設備の整備促進への支援を求めました。



### 2022年度 決算に対する討論

開拓140年・市制施行90年式典等は、市民・事業者と一体となり市制施行100年へむけ地域の発展を誓い合うことができた。コロナ感染症・物価高騰を受け、市民生活を守る・地域経済を守るため、今できる対策・支援を実行してきたと評価する。

物価高騰が続く中、市民生活の影響は大きく、市税歳入は増えたものの、未納者の増加は「収入・生活面」での格差の広がりがあるのではないかと懸念。また公共施設の燃料・電気代が4億円も増加し厳しい財政運営となっている。デパートや大型商業施設の閉店課題も山積している。市長のリーダーシップ・市民協力を得て対策への強化を要望する。



議会も

## ペーパーレス化

今議会から、「ペーパーレス化」に伴い、議員全員に「タブレット」が貸与され、400ページに及び決算書などが見ることができます。年齢のせいか「アナログの議案書」がまだ使用しやすいのですが、頑張っ



野遊会 皆さまにご挨拶

## 野遊会を開催



4年ぶりとなる「大林やすよし市議を囲む野遊会」が9月30日開催されました。心配された天候にも恵まれ、多くの方にご参加いただきました。ありがとうございます。3期目は「コロナ感染症」で行動も制限されていました。4期目は「コロナ・物価高騰」「デパート閉店・大型商業施設の撤退」など地域の経済・市民生活をしっかり守っていく活動を進めてまいります。



## 建設委員会の質疑から

所管する「建設委員会」での質疑内容をお伝えします。「地域公共交通計画(案)」が示され、これまで原案を質疑してきました。市民の移動の手段を守ることは「まちづくり」の一つでもあり、利便性の向上策として「路線や待合所の整備」を挙げています。私からは「乗り継ぎ拠点」の充実を求めています。

2022年6月に米沢市長は「ゼロカーボンシティ」を表明。これまでも帯広市環境モデル都市行動計画を実行し、計画通りにCO2排出削減を進めています。今後の「新たな計画骨子案」では、2050年に温室効果ガス排出を「ゼロ」にする計画



で大変難しい取組と予想されます。市民・事業者の意識の醸成が欠かせません。太陽光やバイオマスなど地域の優位性ある資源を最大限活かしていく必要があります。再エネ・省エネ・ライフスタイルの変更も重要です。

公共交通を利用しよう！

